

Salesforceを周辺システムと連携し 社内業務を徹底的に効率化！

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

Panasonic



本ウェビナーでは

Salesforce活用時に生じるデータ連携への背景について理解を深め、
弊社がおすすめするノーコードでの構築方法をお伝えします。

01



データ連携が必要とされる背景

02



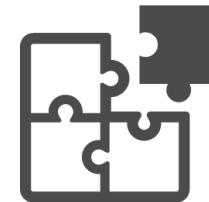
Salesforceとのデータ連携手段

03



当社がオススメするデータ連携手法

04



データ連携をより簡単に

0. はじめに



上村 颯



パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
営業統括部 東日本ソリューション営業部 東日本第一営業所

東日本エリアの営業として民間大手のお客様を中心に
データ連携・コミュニケーションツール・セキュリティなどのソリューションを担当

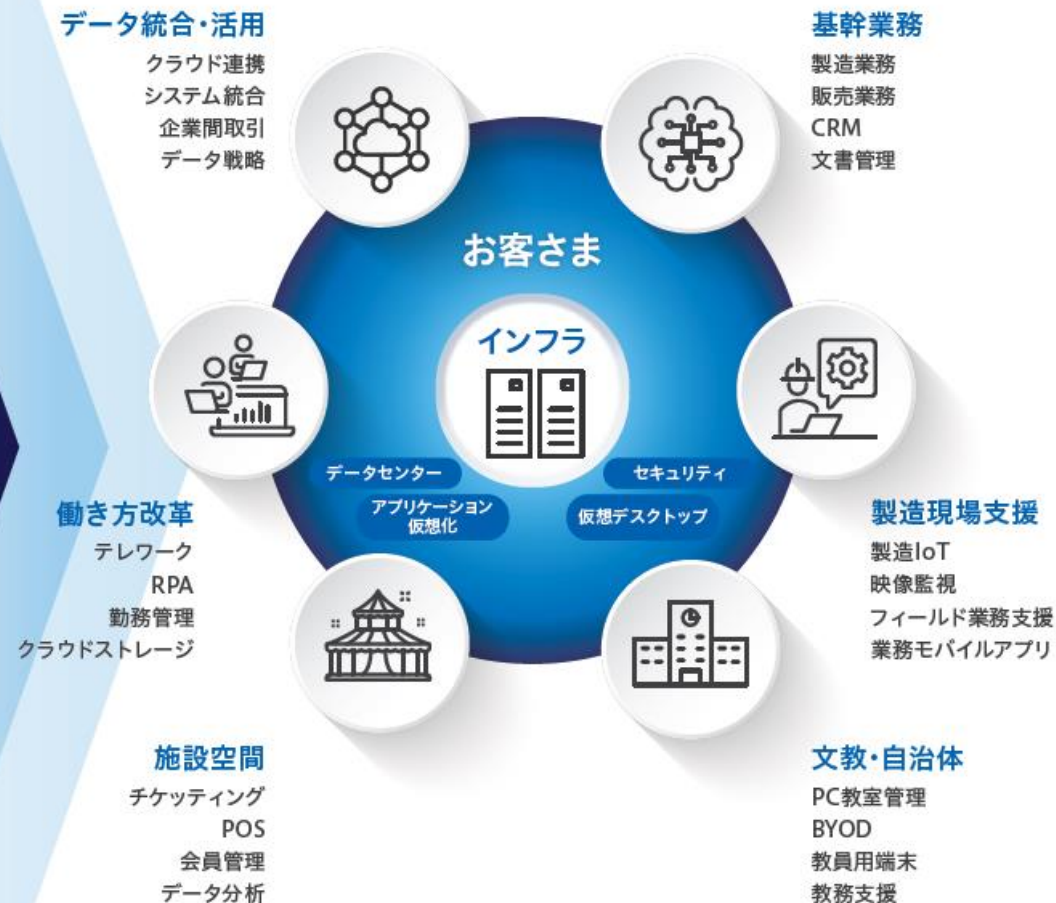
パナソニックISのご紹介

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



パナソニックグループのIT戦略をグローバルで支援

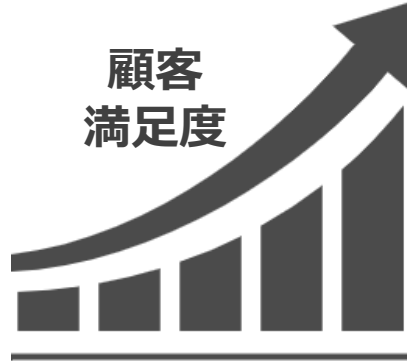
パナソニックグループのグローバルにおけるビジネスと経営をITで支え、Panasonic Transformation(PX)を推進しています。



1. データ連携での課題

1. Salesforceデータ連携が必要とされる背景

背景1



基幹システムとの連携による
顧客満足度の向上

背景2



手作業の自動化による
オペレーション工数の削減

背景3



蓄積情報の活用による
データドリブンな経営判断

2. Salesforceとのデータ連携手段

2. Salesforceとのデータ連携手段について

基幹システム



マスター連携



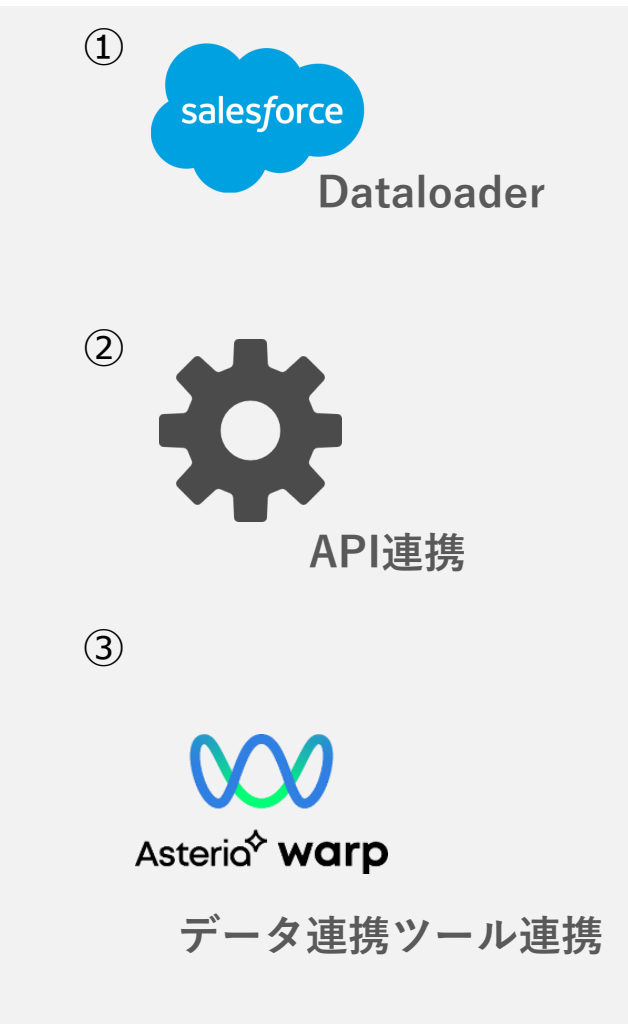
購買履歴連携

受注データ連携

Excel/CSV



顧客情報連携



クラウド/BI

購買履歴連携



顧客情報連携






マスター連携

基幹システム

受注データ連携



3. Salesforceとのデータ連携手段について 比較表

	①Dataloader	②Web API開発	③データ連携ツール
			
■コスト	○	△	△
■機能	×	○	○
■難易度	○	×	○
■保守性	△	△	○
■開発生産性	○	×	○
■拡張性	△	△	○
■エラー処理	×	△	○

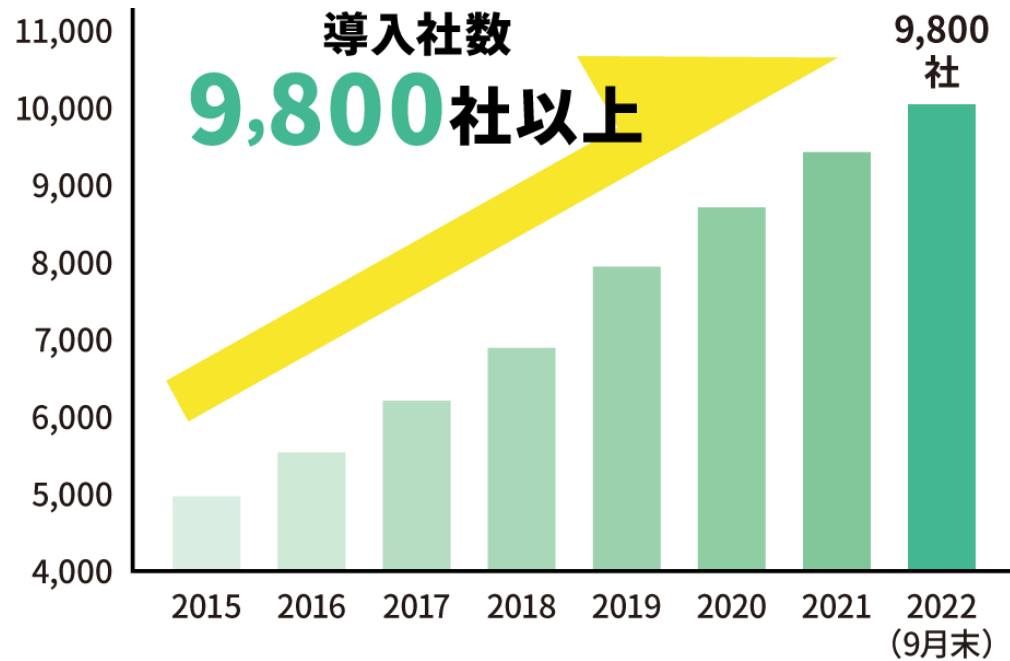
3. オススメのデータ連携手法

3. 当社がオススメするASTERIA Warp Salesforce連携

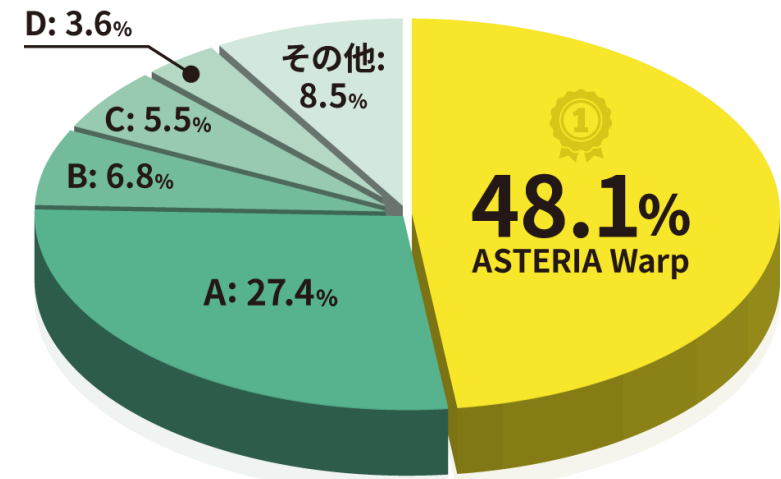


4. データ連携をより簡単に

3. ASTERIA Warpの特長



EAI/ESB市場
16年連続 シェアNo.1

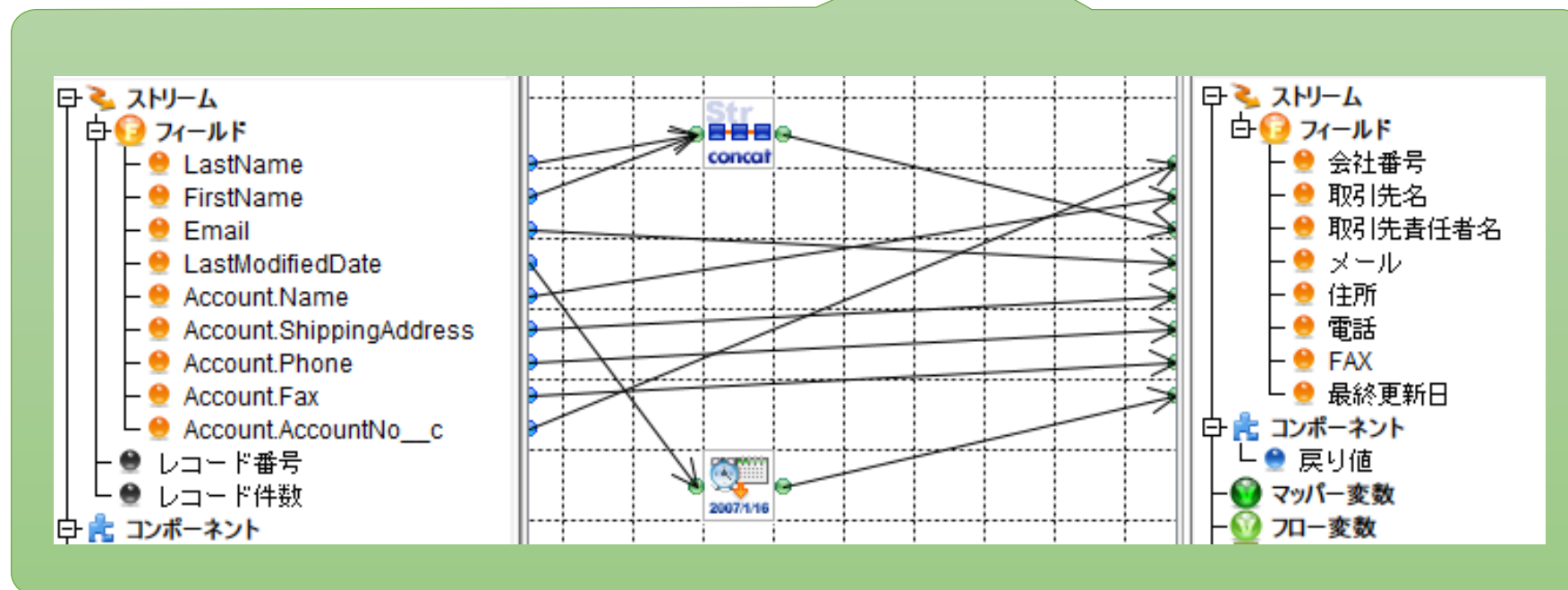
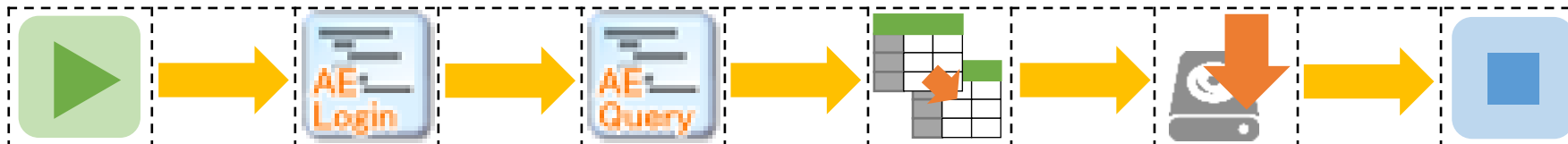


テクノ・システム・リサーチ
「2022年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

<https://www.asteria.com/jp/warp/>

4. ASTERIA Warpによるノーコード開発


Salesforceから取得した情報を加工し、
ファイル出力のマッピングを行います。



4. 豊富なフローテンプレート


 100種類以上の豊富なフローテンプレートで簡単にデータ連携を実現できます。


Office365

 Office365 CalendarからCSVへ

 CSVからOffice365 Calendarへ

楽々精算

 楽々精算から仕訳データをダウンロード

 楽々精算へファイル取込み予約

G Suite

 GoogleCalendarからCSVへ


 CSVからGoogleCalendarへ

 GoogleDriveからCSVへ

 GoogleDriveへアップロード

 GoogleDriveからダウンロード


Motion Board

 CSVからMotion Boardへ

 DBからMotion Boardへ

PCA

 PCA会計DXからCSVへ


 CSVからPCA会計DXへ

 PCA商魂・商管DXからCSVへ


 CSVからPCA商魂・商管理DXへ

kintone


 kintoneからCSVへ


 CSVからkintoneへ

 kintoneからExcelへ

 kintoneサブテーブル取得

 kintoneサブテーブル更新

 kintoneファイルダウンロード


 kintoneファイルアップロード

Social

 Slackへ投稿

 Slackに今日の天気を投稿

 Slackに株価情報を投稿

 LINE@ 友だち情報の受信/返信


 LINEへメッセージ送信


 Chatworkへメッセージを投稿

 Chatworkへタスクを追加

 Chatworkのタスク一覧を取得

その他

 クラウドサイン契約書類作成

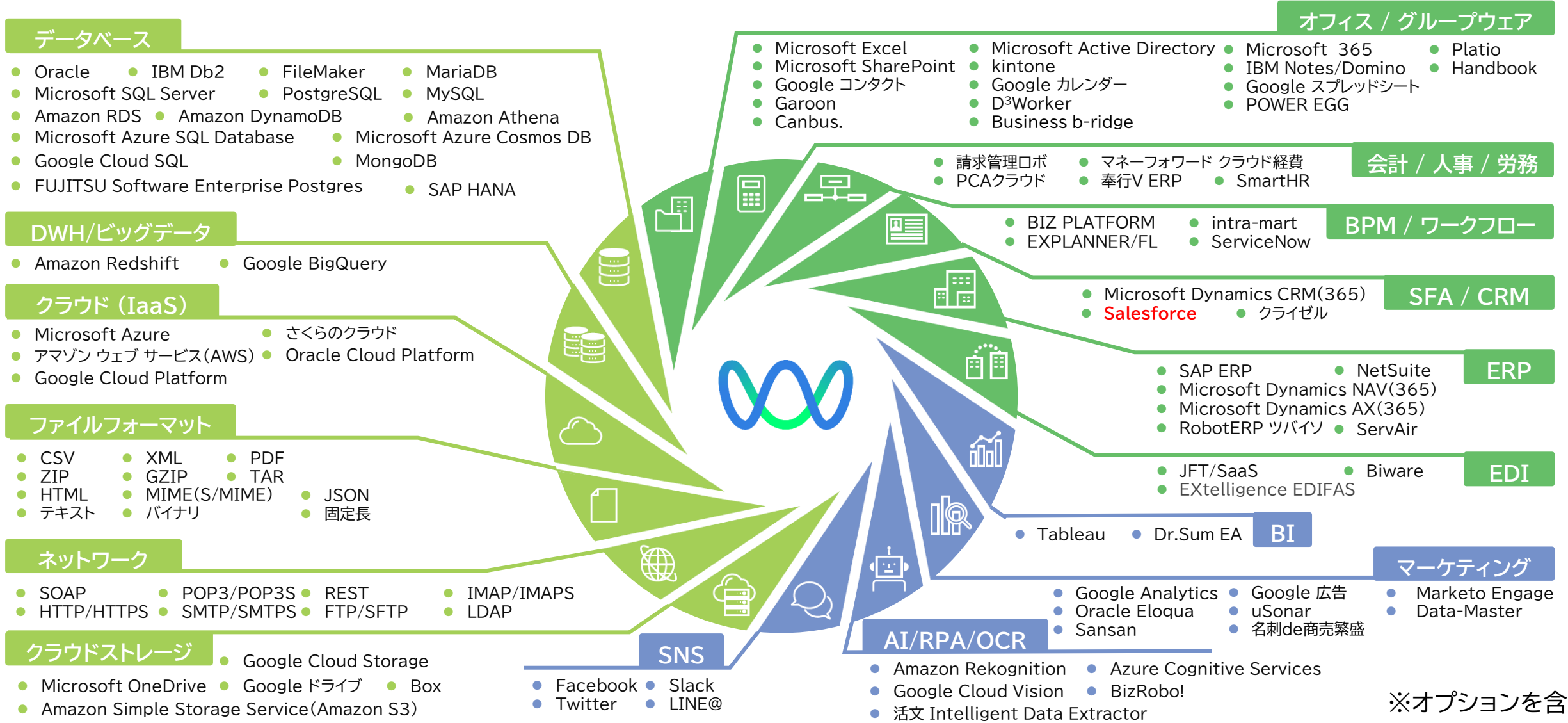
 クラウドサイン契約書類ダウンロード

 Intelligent OCRへ画像書類をアップロード

 Intelligent OCRからテキストデータダウンロード

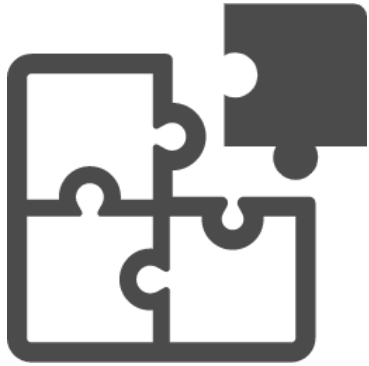
4. サードパーティー製アダプターも充実

100種類を超える多くのインターフェース、データ、システム、サービスに対応しています。



4. Salesforceアダプターの特長

特長1



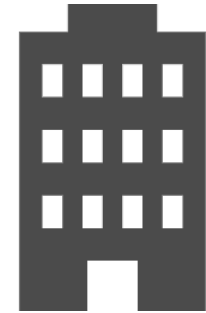
GUIベースの開発により
ノーコードでデータ連携
実行状況を一元管理

特長2



基幹システムのマスターデータなど
大量データ連携が
容易

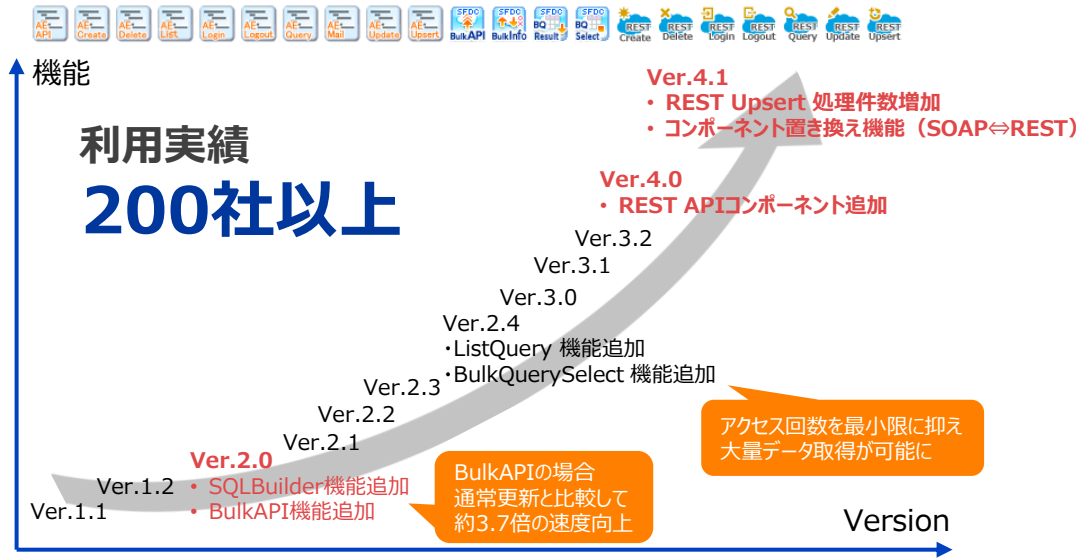
特長3



Salesforce連携
200社以上の利用実績

4. Salesforceアダプター

SalesforceAPIの癖を吸収、ノンコーディングでリトライ制御など実用的機能を集約



1 SalesforceAPIの技術知識不要

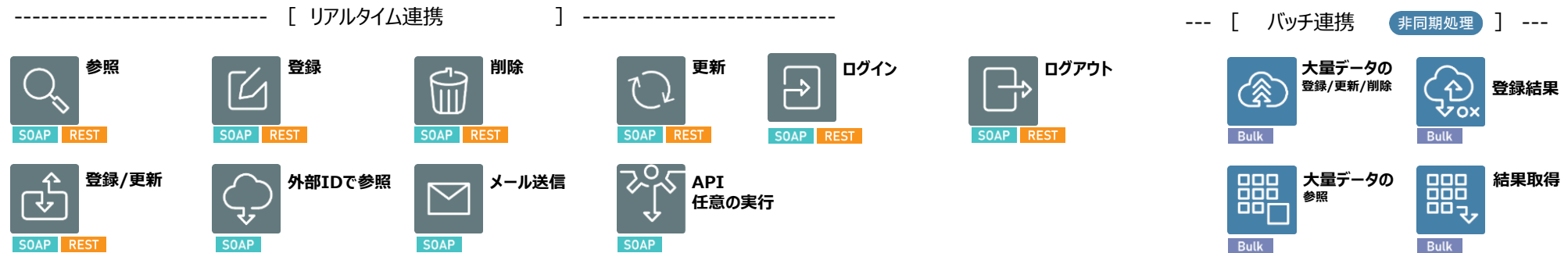
2 簡単3ステップ・テスト実行も簡単

1. 対象となるオブジェクトを選択し
2. 項目を選択すると
3. SOQLが自動生成される

選択	作成可	列名	表示名	参照先
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingCountry	国(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingLatitude	緯度(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingLongitude	経度(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	Phone	取先 電話	

Salesforceの日本語表示名を確認

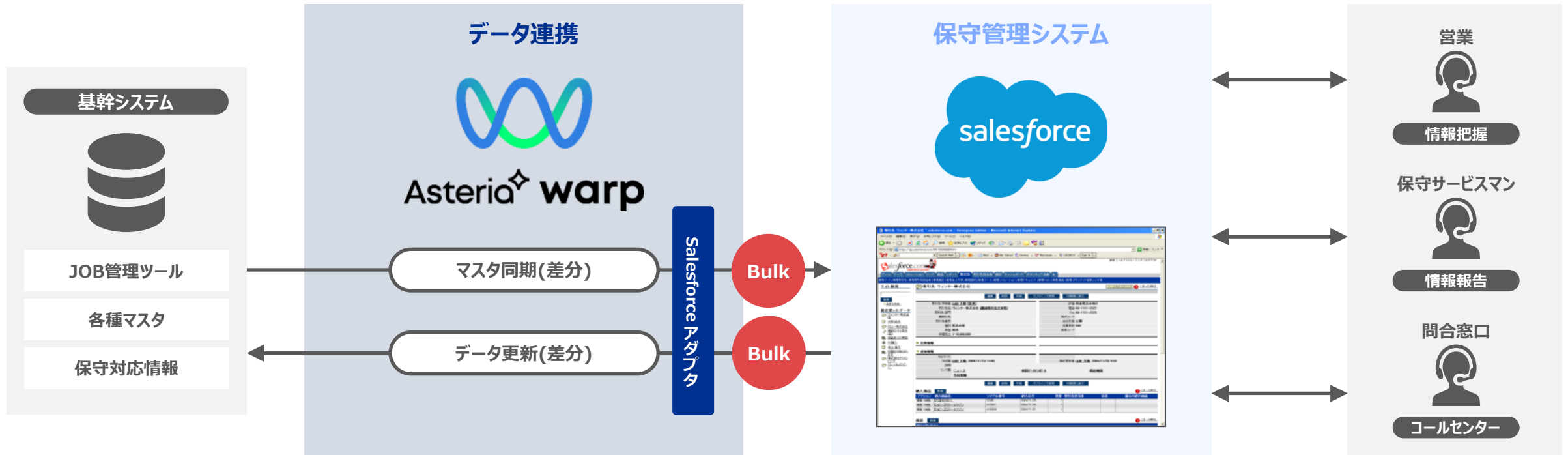
用途に応じたリアル・バッチ連携を使い分け Salesforceアダプター機能一覧



バージョンアップにより REST APIに対応 **NEW**

- 処理速度向上 (SOAP API比**最大18倍**)
- OAuth専用コネクションの追加、フローテンプレートの追加

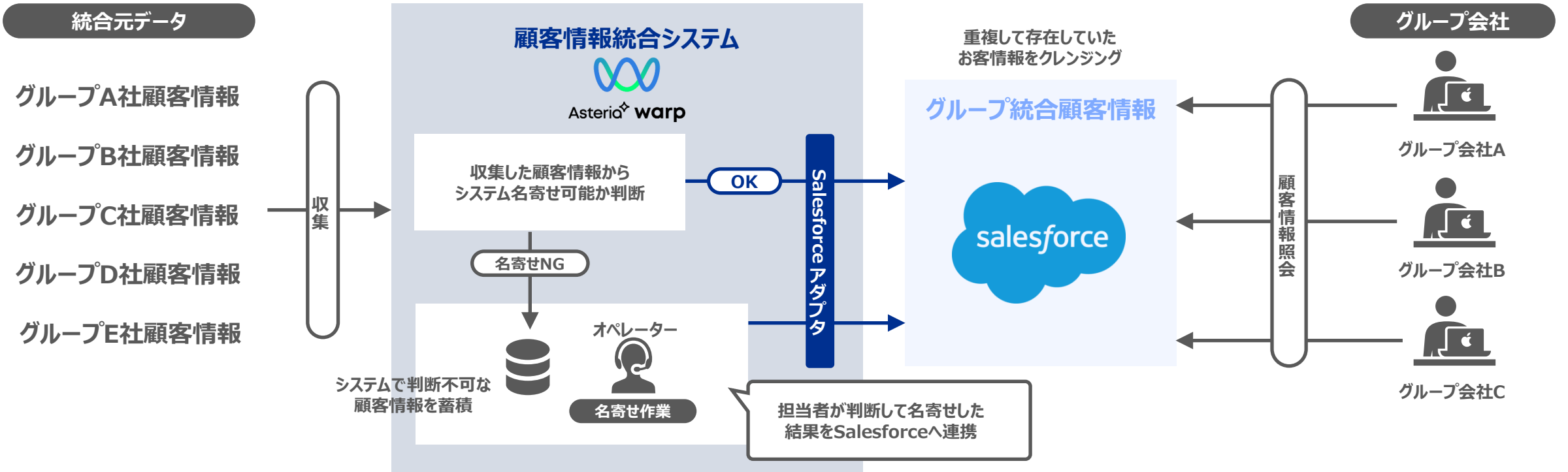
4. データ連携事例①



効果

Salesforceで保守サービス管理システムを構築、基幹システムとの双方向連携を実現
作業員は作業結果を社外から入力できるようになったため、1件あたりの作業時間が短縮

4. データ連携事例②



効果

複数のグループ会社統合に伴い、顧客情報の統合を実現。
グループ間で重複している顧客情報を名寄せし、Salesforce上に公開することで、
グループ共通の顧客情報として活用できるようになった



Panasonic